

やまび

Vol.38

- 森を育てる 山を楽しむ……………2・3
- 組合の活動あれこれ…… 4・5・6・7
- 高性能林業機械の紹介……………8
- 地域安全活動協定締結/上田警察署より感謝状……9
- 木材の価格動向/[しんりん祭]にお出掛け下さい… 10
- 竹筒水筒を作ってみよう/森クイズ… 11
- 組合からのお知らせ…………… 12



森を育てる 山を楽しむ

森林の公益的機能や森林資源に対する期待が高まる中で、山林の持つ可能性を再認識し、自分の山林を資産として管理活用したいとお考えの方も多いのではないだろうか。

いきなり林家として生計を立てるといのは現実的ではありませんが、せっかくの持ち山（所有山林）があるのであれば、その資産価値を減らすことなく、森と関わることから得られる楽しみを見出すことも、管理活用の一つの方法です。



短期間で収穫期を迎える農業とは違い、森林は長い期間で管理を考えなくてはなりません。しかしその分、育てる楽しみも増えるというものです。大切な財産である森林空間を活用し、多様な可能性のある森づくりにチャレンジしてみたいかがでしょうか。



◆自分の山を知る

親から受け継いだ（または受け継ぐ予定の）山林をどう生かしていくか。それにはまず所有山林の現状を把握することが必要です。つまり、

- ・ 所有山林の場所を正確に知っている
- ・ 境界がはっきりわかる
- ・ 森林の現況を把握している

これらのことを明確にすることが管理活用の第一歩です。まずは、自分の山林がどこにあって、どれぐらいの広さで、どんな木が生育しているのかといった、基本的な情報を確認することから始めてみましょう。



◆活用目的を明確にしよう

自分の山を知った上で、次に考えなくてはならないのが、その山林で何をしたいのか、どう活用していくのかといった目的を明確にすることです。

- ・ かつて植林した木が立派に成長したので、木材として販売し収入を得たい
- ・ 林間を生かして、椎茸などのきのこ栽培や、タラノキなどを植えて山菜を栽培してみたい
- ・ 薪ストーブ用の木材を自分の山から調達したい
- ・ 木の風合いを生かした木工品づくりに挑戦してみたい
- ・ きれいに整備をして、リクリエーション空間として森を楽しみたい

など、山林を活用するアイデアは無限にあります。皆さんの工夫次第では、自然の恵みから様々な価値が生まれ、「山を持っていてよかった」と思える日が訪れるはずです。

◆山のご相談は森林組合へ

しかしながら、山林を活用していくには、それなりの専門的な知識や技術が必要です。そこで、何から始めていいか分からないといった方の強い見方となるのが、森林・林業のプロである「森林組合」です。

森林組合は森林所有者である皆さんが出資して設立された協同組合であり、「所有山林の境界を確認したい」「手入れをしたいが、なるべく負担を少なくしたい」「どう活かしたらいいかわからない」などの声にお応えする、森林所有者の皆さんにとって、身近で頼りになる存在です。



森づくりを始めてみたものの、負担や手間がかり過ぎて、せつかくのやる気を失くしてしまうこともあります。そうならないためにも、「森を育てて楽しみたい」と思い立ったら、まずは森林組合へ相談をしてみたいかがでしょうか。きっと山林を所有しているメリットが広がるはずです。皆さんからのご相談をお待ちしております。

組合の活動

あれこれ

しいたけ駒打ち体験

四月から五月にかけて、管内の小学校において、しいたけ栽培の駒打ち体験教室が行われ、当組合の職員が指導にあたりました。

児童たちは、重いコナラの原木をみんなで協力して運び、ドリルで穴をあけて木づちで菌を打ち込むなど、しいたけ栽培について学習しました。



駒打ちは初めてという児童が多い中、体験中に怪我もなく、最後の感想発表では「もっとやりたかった」といった声を聞くことができ、とても楽しんでくれたようでした。



新任役員組合施設見学

五月三十日(金)

三月二十日の通常総代会において選任された、六名の新任役員による組合施設及び作業現場見学を行いました。

一日かけて四つの事務所とレストラン等の特産センターをまわり、長和町大門の搬出間伐の作業現場を見学したほか、組合運営について意見を交わしました。



山神祭・班長研修会開催

六月十三日(金)

職場の安全を祈願し、職員の安全意識の向上を図るため、山神祭と作業班の班長を対象とした研修会を開催しました。

当日は山家神社で安全祈願をした後、(株)林友の中野取締役顧問を講師にお招きして「成せば成る」と題した講演をお聞きし、班長としての心構えなど、安全作業に対する意識を高めることができました。



労働安全研修会

九月十二日(金)

全職員が一堂に会し、安全意識の向上を目的として「労働安全研修会」を開催しました。



今年の上田南部消防署より講師を招き、緊急時における救急措置の講習を受けたほか、山仕事での危険から身を守るため、チェンソー防護服の安全性について、実技を交えながら講習を行い、防護衣着用の必要性について再確認しました。



平成二十六年度 安全スローガン
「同じ状況は二度とない
一つの作業を大切に
その繰り返しが無災害」

第三回

上下小協同組合まつり

九月十三日(土)

上下小地区の五つの協同組合が参加し、「第三回上下小協同組合まつり」が開催されました。

各協同組合がそれぞれの特色を活かしたブースを出店する中、当組合は深刻化する獣害対策の一環として、

ジビエ（野生鹿肉）の試食販売を行いました。

最近では狩猟の工夫や様々な調理方法によって食べやすくなり、試食されたお客様からは、「思ったよりもやわらかく美味しい」と好評でした。



今年の松茸発生状況

今年の松茸の発生状況は、八月に雨が多く、残暑も厳しくなかったことなどから、九月上旬から発生しはじめ、二年続けての豊作が期待されましたが、十月に入って収穫が落ち込み、平年並みの発生量となりました。



監査会・理事会報告

八月二十七日に監査会を開催し、監事三名により上半期事業の執行について監査を受けました。

また、九月十一日に開催された理事会において、提出された全ての議案が可決、承認されました。

視察・研修の受け入れ

○高校生職場見学会 八月六日

来春卒業予定者を対象とした職場見学会が行われ、東信地区の四つの高校より十名の生徒が参加して、組合の概要説明のほか、下刈りの作業現場を見学しました。

生徒たちは森林組合の仕事を感じながら、担当者の説明に聞き入っていました。



○信州大学経済学部研修

八月八日

協同組合の活動や役割等について学ぶため、信州大学経済学部の学生

十名が当組合を訪れ、高性能林業機械を活用した作業システムについて、熱心に学習してきました。

○上田市議会 現場視察

十月十四日

上田市議会林業林産業活性化議員連盟による現場視察が行われ、約四十名が当組合の作業現場を訪れました。

担当者より高効率作業システムについて説明したほか、ロングリーチアームハーベスタによる伐倒作業の様子を視察されました。



新そば祭り開催

十一月九日(日)

青木村の「リフレッシュパークあおき」では、青木村が特産化を目指して村内で栽培している「タチアカネ」のそば粉を使って「新そばまつり」を開催し、一〇〇食限定で打ちそばを提供しました。



「タチアカネ」は、収穫量が多く倒れにくい品種で、花の下の実の皮が鮮やかな赤になり、白と赤の美しさが特徴です。

新そばを召し上がったお客様からは、「香りも良く美味しい」と大変好評でした。

森林組合PR事業 SBCラジオで実施中

毎週月曜日、SBCラジオ「モーニングワイド・ラジオJ」の中で、森林組合PR事業を行っています。当組合の次回の放送日は十二月八日です。毎回、森林組合の様々な取り組みについて紹介しておりますので、どうぞお楽しみに。



次回の放送予定

12月8日(月)

午前8時20分～

モーニングワイド ラジオJ
「森と暮らそう」

食事処しんりん

「真田丸」ツアー客

受け入れ

今年五月に、二〇一六年NHK大河ドラマ「真田丸」の放送が決定になり、真田氏と関係が深い上田市への観光客の増加が期待されます。

当組合が運営する「食事処しんりん」は真田の郷である上田市真田町にあることから、九月より真田氏のゆかりの地を巡るツアー客を受け入れ、人気メニュー「真田御膳」の提供や、「真田丸」関連の土産品を販売するなどのサービスを始めました。今後ますます集客が見込まれますので、地域の活性化につながるよう、真田丸関連の業務に取り組む考えです。



しんりん「真田御膳」

森林の写真・絵画を募集します！

森林組合では、合併 20 周年を記念して、山や森林・林業に関する写真や絵を募集します。ぜひ皆さんのとっておきの一枚を送って下さい。

○募集テーマ

- ・上小の山や森林・里山の風景など、「山」「森林」を題材にしたもの
- ・植林や間伐などの林業作業や、きのこ栽培・松茸狩りの様子など、「林業」を題材としたもの

○応募規定

- ・組合員及び上小地域にお住まいの方で、作品は未発表のものに限ります。
- ・写真のサイズは、四つ切（ワイド不可、デジタル可）
- ・昔懐かしい写真、お子様の絵も大歓迎です。

○応募方法

下記の応募用紙に必要事項を記入の上、作品とあわせて郵便などにより送付して下さい。

○応募締切

平成 27 年 6 月 30 日(火)

○展示について

- ・応募のあった作品は、下記で展示します
- ・合併 20 周年記念式典会場
平成 27 年 9 月 13 日(日)
- ・森林組合 各施設
平成 27 年 8 月から半年間

○作品の取り扱い

- ・作品は展示のほか、広報活動に利用する場合があります。
- ・作品の著作権、使用权等の一切の権利は森林組合に属するものとします。
- ・作品は原則、返却いたしません。
- ・応募者の個人情報、展示目的にのみ利用します。

「森林・林業」写真、絵画 応募用紙

題名		撮影年月日 (写真の場合)	年	月	日
作品説明					
氏名(年齢)	フリガナ		(歳)		
住所 電話番号	〒 -		Tel - -		

信州上小森林組合

高性能林業機械の紹介



ロングリーチアームハーベスタ

組合では、平成 26 年度事業の中で、2 台目となる「ハーベスタ」を導入する計画です。

今回は、高性能林業機械である、この「ハーベスタ」をご紹介します。

■ハーベスタとは？

ハーベスタは立木をつかんで伐倒し、伐倒した木の枝を払い、用途に合わせた長さの丸太に玉切り（切断）し、玉切りした材を積み上げるまでの作業を一台で行うことができる林業機械のことで、低コスト・高効率化を目指すこれからの林業に欠かせない一台です。

■作業の効率化とコスト削減

当組合では、ハーベスタをはじめとする様々な高性能林業機械を保有し、それらの機械を組み合わせた「低コスト作業システム」で施業を進めています。高性能林業機械を駆使し、作業の効率化してコストを削減することで、森林所有者の皆さんの経費負担を減らし、少しでも利益を還元できるように取り組んでいます。



「高性能林業機械」とは

高性能林業機械とは、従来のチェーンソーや刈払い機等の機械に比べて、作業の効率化、身体への負担の軽減等、性能が著しく高い林業機械です。二十年ほど前から開発・普及が進められており、主な機械として、スキッダ、プロセッサ、ハーベスタ、スイングヤーダなどがあります。

（林野庁HPより引用）



安心・安全なまちづくりを目指して 上田警察署長と「地域安全活動協定」を締結しました



右から大久保組合長、山崎警察署長、JA 芳坂組合長

七月十七日(木)、上田警察署において、地域の安全確保を目的とした「地域安全活動に関する協定書」の調印式が行われ、上田警察署と協定が結ばれました。

この協定は、日頃の業務を通じて特殊詐欺等犯罪被害防止活動に協力するほか、事故や事件の発生や、不審者に関する情報を認知した場合は警察に通報するなど、相互理解による高い信頼と協力関係に基づき、「安心・安全」な街づくりの実現を目指すことを目的としています。



感謝状を受ける 春原芳弘 班長 (中央)

地域安全活動の協定を結んだことにより、当組合の技能職員、春原 芳弘 班長(上田支所)が九月二十七日、行方不明男児の保護に貢献したとして、上田警察署長より感謝状を受けました。

これは、コンビニの駐車場にて一人で寝ていた男児を、市内で行方不明になってくる中学生と推察し、男児に声をかけ保護に協力したことによるものです。

今後もこの協定に沿い、地域の安全を確保するため、全職員を挙げて協力する考えです。

上田警察署より感謝状



信州だまされない宣言

こんな話には要注意!!

- 必ずもうかります!
- 名義を貸してください!
- 注意!!!
- 悪質商法
- 損を取り戻してあげます!
- あなただけに特別教えます!
- 電話番号が変わった!
- 無料で点検します!
- レターパック・宅配便で現金送って! など...
- もシカッチ

あやしい話、おかしい話はまず相談しよう!

消費者ホットライン 警察相談専用電話

0570-064-370 #9110

あなたのご家族・ご近所は大丈夫ですか?

長野県・長野県警察

長野県樹種別素材丸太価格の推移【平成 25 年 4 月～平成 26 年 9 月】 (単位：円)

	H25.4	5	6	7	8	9	10	11	12
ヒノキ	15,000	15,200	15,200	15,200	15,200	15,200	16,200	18,700	19,000
スギ	10,000	10,000	10,000	10,000	9,600	9,600	10,000	11,000	11,000
アカマツ	8,500	8,500	8,500	8,200	8,200	8,200	8,500	8,700	8,700
カラマツ	12,400	12,400	12,400	12,400	12,500	12,500	12,500	12,600	12,600

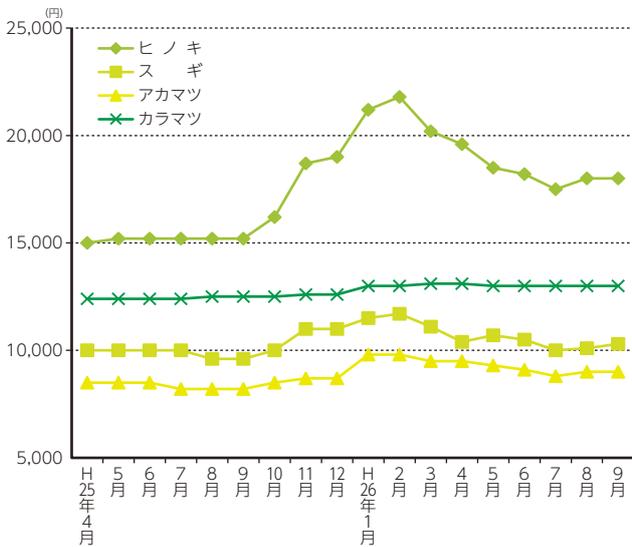
	H26.1	2	3	4	5	6	7	8	9
ヒノキ	21,200	21,800	20,200	19,600	18,500	18,200	17,500	18,000	18,000
スギ	11,500	11,700	11,100	10,400	10,700	10,500	10,000	10,100	10,300
アカマツ	9,800	9,800	9,500	9,500	9,300	9,100	8,800	9,000	9,000
カラマツ	13,000	13,000	13,100	13,100	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

※素材丸太 径 24～28cm 長さ 4.0m 直材 1m当りの工場到着価格

木材価格の動向

全国的に消費増税の反動減が続き、八月の新築住宅着工戸数は約七万三千戸（前年同月比一二・五%減）で、六か月連続の前年比減となりました。

その後も増税前の駆け込み需要の影響が長引き、秋口になっても住宅着工数が回復しない状況が続いています。このようなか中、木材価格の動向は全国的に多いスギ、ヒノキは駆け込み需要で一時的に上向きしましたが、現状は今だ反動減が続いております。



カラマツ材の荷動きは増税後も需要があり、パルプ材については県内はもとより全国各地で商業稼働する複数の木質バイオマス発電施設により、燃料用未利用材の備蓄が本格化し、製紙用チップも価格の上昇が期待されます。森林組合といたしましては、今後も系統機関と連携を図り、地域産材の有利販売に努めてまいります。



「しんりん祭」にお出掛け下さい

☆12月6日(土)・7日(日)

青木会場：道の駅あおき

東御会場：御牧乃湯

※会場が変更になりました。

☆12月13日(土)・14日(日)

上田会場：

上小森林センター

真田会場：川東支所

開催時間は各会場とも

土曜日

午前9時～午後4時

日曜日

午前9時～午後2時

日用品や正月用品、野菜や海産物など、お買い得商品をたくさん取り揃え、皆さんのお越しをお待ちしております。年末のお買いものは、森林組合の「しんりん祭」にぜひお出掛け下さい！

新聞折り込みのチラシが入りますので、お見落としのないようにご覧ください。



☆依田窪会場は、11月29日・30日に終了しました。大勢の皆さまにご来場いただき、ありがとうございました。

竹筒水筒を

作ってみよう！

材料

- ・竹（一節）
- ・ひも

作り方



① 節を残して竹をのこぎりで切ります。

この時、飲み口にする方は少し長めに切りましょう。

② 続いて、飲み口側にあまり大きくならないように注意しながら、水が出る穴をあけます。

③ 中をきれいに洗いましょう。

④ 竹の枝を削り、栓を作ります。

⑤ サンドペーパーなどで、飲み口をきれいに仕上げます。

⑥ ひもをつけて、出来上がりです。

竹は中が空洞になっているので、簡単に水筒が作れます。昔ながらでエコな竹筒水筒を使っていれば、一目置かれること間違いなしです。



問題

立木の伐倒・枝払い・玉切り、集積作業を一台でこなす高性能林業機械とは？



次の①～④の中から正解の番号を選び、はがきに書いてご応募ください。

- ① ハーベスタ
- ② チエンソー
- ③ 刈払機
- ④ ブルトナー

※ヒントは8ページにあります。

正解された方の中から、抽選で**3名様**に、食事処「しんりん」の1,000円分の御食事券をプレゼントします！

〈応募はがきの記入方法〉

- ①クイズの答え
- ②住所・氏名・年齢・電話番号
- ③組合、広報誌への意見がございましたらご記入下さい。

裏

〒386-1212
上田市富士山
2464-226
信州上小森林組合
やまびこ編集部

表

※発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。
(平成27年1月31日消印有効)

組合からの お知らせ

●人事のお知らせ

〔採用〕

職員

六月一日付

寺崎 有里（総務課書記）

〔退職〕

職員

四月三十日付

小島しま江（販・購買課係長）

〔異動〕

職員

五月一日付

販・購買課書記

永井ひかり（総務課書記）

●組合員さんの名義変更について

相続などにより組合員の名義変更をする場合は、「組合員の死亡届と相続人の加入申込書」の提出をお願いします。詳しくは、最寄

りの支所にお問い合わせ下さい。
また、組合員の新規加入も随時受け付けています。

●合併二十周年記念事業のお知らせ

来年八月一日をもって合併から二十年を迎えるにあたり、当組合では次の記念行事を計画しております。

☆グリーンフェア（植木まつり）……四～六月

☆二十周年記念誌の発行……八月

☆記念式典及び記念イベント……九月十三日

☆二十周年感謝祭……十一月

☆二十周年感謝祭……十一月

どのイベントも組合員の皆さんに日頃の感謝の気持ちが伝わるような内容にしたいと考えておりますので、どうぞご期待ください。

●春植苗木・きのこ種菌の注文を承ります

○山行苗木（注文は25本単位）

・アカマツ ・スギ ・ヒノキ など

○きのこ種菌（メーカー、品種により1000

駒入と500駒入）

・森産業 しいたけ、なめこ、ひらたけ

・大貫種菌 しいたけ、なめこ、くりたけ

○きのこ原木 ※本数に限りがあります

・コナラ ・サクラ など

○庭木・果樹苗木

・庭木、生垣類から、低木、中高木各種
・果樹苗木各種（根巻またはポット）

新聞折り込みでお配りする注文書によりお申し込みください。締め切りは一月十六日までとなります。

なお、注文書は各支所にもございます。お気軽にお問い合わせ下さい。

あ と が き

九月二十七日、木曾の御嶽山が水蒸気爆発を起こし、戦後最悪の火山災害が起こりました。

今年七月に「信州山の日」が制定されたように、信州人にとって山は林産物や観光資源といった多くの恵みをもたらしてくれる身近な存在です。

しかしながら、今回のような自然の猛威の前では、人はなすすべがないことを思い知らされ、畏敬の念を抱かざるをえませんでした。

犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、落ち着きを取り戻し、穏やかで雄大な山容に早く戻ることを切に願います。

■信州上小森林組合

本所・上田支所／☎0268-39-8522 ・FAX.0268-39-8523
川東支所／☎0268-72-3703 ・FAX.0268-72-3881
依田窪支所／☎0268-68-2172 ・FAX.0268-68-2056
青木支所／☎0268-49-2021 ・FAX.0268-46-2641